

こころのはな



道徳の時間の様子

5年生 「真由、班長になる」

初めて班長になった真由は、意欲的に自分の役割を果たそうとするがうまく班をまとめることができず、班長としての役割とはどのようなものなのか再度考えます。次の日、周囲の人のために気を配り、仲間のために行動したことで班がまとまっていき、自分の役割を果たすことができたお話です。



授業の最初に事前に取っておいたアンケート結果を紹介しました。「リーダーになって困ったな。大変だなと思ったことは?」に対して「何かお願いしたときに、なかなかしてくれなくて困った」「話を聞いてくれない」という回答だけではなく、「来年みんなをまとめるのが大変そう」という回答も。班長として自分の役割に悩む真由の気持ちが5年生にはよく理解できたようです。

このお話では、二日目に班のみんなが楽しく班活動をすることができました。みんなが不服そうにしていた一日目とは大違います。なぜか問いかけたところ、「真由が周りをよく見て声をかけた」「みんなを思いやった」「一日目とは違って、公平になるようにみんなに声をかけた」という意見が出ました。真由の姿を通して、集団の中でリーダーはどんな気持ちや考えをもつことが大切なのか考えることができました。



授業の終わりには、「みんなが気持ちよく過ごすために、リーダーはどんな心構えが大切なのか」ということについて考えてもらいました。道徳ノートに書いた内容を一部紹介します。

学習の振り返りより

- ・周りをよく見て、みんなが話を聞いてくれるように優しく声をかけることが大切。
- ・みんなの意見を聞いて、みんなの考えを優先する。不公平はよくない。
- ・リーダーだけじゃなく、周りにいる他の人もしっかりしないといけない。
- ・集団の中で困っている人がいたら助ける。その子はきっと楽しくないからみんなをよく見ることが大切。
- ・一人一人に気を配ることが大切だと思う。そうしないと班の中で楽しい人と楽しくない人が出てくる。

これからリーダーとなって行動することができますます増える5年生には、今日の授業を今後に生かしてほしいと思います。